

クリティカルケア看護演習Ⅰ

更新日：2021/03/09 10:21:31

開講年度	2021	学期	後期	シバースト [®]	85040		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850400
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

クリティカルな状況にある患者の回復に向けた、ケアとキュアが融合した介入、および家族に対する援助的かかわりについての実践力を養う。

到達目標

1	クリティカルな状況にある患者の症状緩和をめざし、ケアとキュアを融合させた高度な看護の提供ができる。
2	エビデンスに基づいた日常生活援助方法について理解できる。
3	クリティカルな状況にある患者、家族に対し、援助関係論や家族看護論を基盤にした適切な心のケアが提供できる。

DPとの関連

DP2○

DP6 (CNS) ◎

DP7 (CNS) ○

授業計画

1	生体侵襲理論、身体的ストレス理論を踏まえた患者の特徴、ケアとキュアのあり方 本授業では、高機能シミュレーターを用いた演習を中心に、患者の症状回復、および患者と家族の心理的安寧のための援助方法の修得をめざす。 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
2	循環を安定させるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
3	循環を安定させるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
4	循環を安定させるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
5	循環を安定させるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
6	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
7	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
8	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
9	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
10	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】

11	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
12	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
13	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
14	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
15	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】 【授業方法】演習 【担当】
16	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
17	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
18	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
19	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
20	患者、家族の心のケア 【授業内容】家族看護論 【授業方法】演習 【担当】
21	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
22	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
23	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
24	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
25	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
26	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
27	心のケアの実際：患者事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 【担当】

28	心のケアの実際：患者事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
29	心のケアの実際：家族事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
30	心のケアの実際：家族事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】

学習方法

本授業では、高機能シミュレーターを用いた演習を中心に、患者の症状回復に向けた援助方法 の修得をめざす。また1～9回目の演習は、専門科目の「クリティカルケア看護特論III」を、20～30回目は、「クリティカルケア看護特論I」の内容を十分に復習し、理解したうえで臨む必要がある。

オフィスアワー

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

山勢博彰：救急・重症患者と家族のための心のケア。大阪，メディカ出版，2010。
 道又元裕：重症患者の全身管理。名古屋，日総研出版，2009。

評価方法

担当したプレゼンテーションの内容（70％）、授業への積極的参加度（30％）